

第61号

財団法人新潟教育会  
(新潟教育会館内)

代表 大竹 肇

〒950-8101

新潟市中央区西大畑町590番地3

TEL: 025-222-2971

E-mail: <http://kyoikukai.jp>

事務局: [jimu@kyoikukai.jp](mailto:jimu@kyoikukai.jp)

幹事部: [kenkyujo@kyoikukai.jp](mailto:kenkyujo@kyoikukai.jp)

休館日: 月曜日

印刷所: 文久堂



平成21年度

# 夏季大学講座

椎名 誠 様



21. 8. 1  
長岡市リックホール

### ■ 講師紹介

- ・昭和19年 東京生れ
- ・東京写真大学(現東京工芸大) 中退
- ・小説家、編集者、写真家、映画監督などいくつもの顔をもち活躍
- ・代表作等  
「さらば国分寺書店のオババ」(ベストセラー)  
「犬の系譜」(吉川英治文学新人賞)  
「アド・バード」(日本SF大賞)
- ・平成21年4月1日付で新潟市北区・水の駅「ビュー福島潟」の5代目名誉館長に就任

## 講義題 「異文化としての日本」

夏季大学講座に参加して

五泉市立五泉小 山田 学

椎名誠さんから、「異文化としての日本」と題して語っていただいた。

海外旅行中、カメラを盗まれたり、数十倍の高値でコピーを請求されたり、他国の実情に無知な故に起きた事件が紹介された。添加物を含んだ食べ物がある、使いこなせない道具が氾濫する日本を、「げてももの食い」国家、「ガラパゴス現象」と語り、日本を憂いていた。

子どもたちへ、安全で安心な暮らしを残すには、自国の問題点を感じる「目」と、努力を惜しまない「実行力」とが試されていると感じた講演会であった。

### 「日本」を知るために

新潟大学教育学部附属長岡中学校

神子 尚彦

日本に住む私達が、日頃当たり前のように感じていることが、実はそうではないのではないかと、椎名氏はご自身の体験や旅行での見聞を通して、私達に語りかけていました。ひと頃、日本の捕鯨の在り方や鯨食の是非について話題になりました。コミック雑誌にも取り上げられるなど、このことが日本人自身が鯨との関わりや文化としての捕鯨について見直す機会となりました。「日本」を知るには他国の文化を知ることが大切。「民族・文化の多様性への理解と尊重」について考えさせられた講演でした。



# 「異文化としての日本」

椎名 誠 様

新潟に来るとき、夏を迎えようとして  
いる緑がとて綺麗に見えました。日本  
は山国ですね。それから、信濃川を越え  
ました。川もたくさんある国です。三月  
五千本もあります。淡水が豊富な国な  
のです。海も取り巻いています。日本には、  
山、川、海の三拍子がそろっています。

## 一 日本は多機能文化

日本の文化とアメリカの文化は、最近  
近くなってきましたが、現場ではまだ異  
文化なのです。アメリカに住んでいる孫  
がやってきて異文化を感じたことがあり  
ました。五歳の孫が、トイレに入れない  
のです。温水シャワートイレです。孫は  
「こわい」と言うのです。便座の脇に緑  
色の二つのランプがあつて「ぼくを見つ  
めている」と言うのです。アメリカには  
このようなトイレはありません。孫をト  
イレに行かせるために電源を切ろうとし  
て説明書を見ました。その説明書を読む  
と様々な機能があることが分かりまし  
た。例えば、リラクゼーションミュージック  
システムという音楽が鳴る機能がありま  
した。これが日本文化です。ハイテクを  
とことんまで突き進めているのです。こ  
の最たるものが携帯電話です。携帯電話  
を買に行ったところ、お店の人は「最  
新の携帯電話にはテレビが付いていま  
す」と言うのです。ぼくは「テレビを買  
いに来たのではないからいい」と言

いました。すると店の人は、「カメラ機  
能が付いているのは常識です」と言うの  
です。私は、写真を撮る必要がある時は、  
フィルムが入っている一眼レフのカメラ  
を使うからいいと言いました。「電  
話とメールができればいいのです」と言  
ったら、シルバー仕様の物を渡されまし  
た。それでも説明書は十冊もあります。  
この多機能というのが日本なのです。

## 二 豊かさに気が付かない

この演壇に花があります。モンゴルの  
人々は絶対にこういうことをしません。  
花を愛でるといふことにはないのです。モ  
ンゴルの人々は元々遊牧民です。動物は  
草を食べるのです。花は食べません。六  
月になるとモンゴルの草原も一面花畑に  
なります。花の名前を尋ねても、まった  
く知らないのです。

このようなことは、世界中によくあり  
ます。私は、ある法則に気が付きました。  
たくさんあるものには関心が無いとい  
う法則です。世界中で言えることです。

ネパールの人々は、満天の星空には興  
味がありません。カナダの人々はオーロ  
ラに興味がないのです。これは、相対的  
な価値観です。

日本人は、この豊かな山、川、海に気  
付いていないのではないのでしょうか。日  
本には、水がたくさんあるので、その大  
切さに気が付かないのです。

## 三 諸外国の死生観と日本の仏教

死生観も日本は随分変わったものをも  
っているようだと思います。チベット  
は、雲峡の国と言われています。また、  
文化の深い国です。そのチベットでは、  
鳥葬をしているところがあります。鳥葬  
場は、遠目に見るとカラフルです。でも  
行くとき誰もいません。着ていた服が散ら  
ばっているのです。私は、鳥葬というの  
は、死生観としては良いと思っています。  
チベットでは、死んでしまうと、その人  
の痕跡をすべて無くしてしまいます。こ  
れは、施しの思想なのです。僧侶が来て  
ボアの儀式をするとその人の魂は成仏し  
て残った骸は単なる物体ということにな  
り、鳥とか犬にやるということなのです。

モンゴルは風葬。風葬という綺麗な  
ような気がしますが、単なる野ざらしで  
す。インドシナ半島では、ジャングル葬  
です。山にやぐらを組んで、その上に死  
体を置きます。太陽と動物とバクテリア  
に任せます。インドは水葬です。  
墓を作らない埋葬の国々を見て回ると  
日本のような先祖代々の墓のある仏教に  
疑問を感じてしまいます。

本当の仏教を見てしまったからでしょ  
うか。日本の仏教は完全に経済の中の宗  
教になってしまっていますから、少し反  
発があります。

## 四 賞味期限と添加物

異文化性のなかで最も大きいのは食  
物です。異文化性の最たるものは食  
物です。異文化性の中で変だ  
なと思っっているのは賞味期限のことです。  
コンビニで売っている弁当は、昨日賞味  
期限だと、今日は食べないのです。そん

なに食い物は厳格に数字で左右されるも  
のかと考えるのです。

よその国で、昨日までは食い物だけ  
今日はゴミという国はありません。賞味  
期限なんて自分が決めるものです。個  
体差があつていい。賞味期限を過ぎるとダ  
メな人もいるかもしれないけど、三日過  
ぎても大丈夫だという人もいます。ず  
数字で簡単に、全部ヨシとかダメとかい  
う国はどこかおかしい。食料自給率最下  
位の国がやっていることではありませ  
ん。僕は、コンビニの物はあまり食べませ  
ん。怖いからです。カップめんの中には  
二、三十種類の添加物が入っています。  
僕のように注意していても一日十回は入  
ってくるそうです。子供たちには食わせ  
たくないという気持ちがあります。十二  
kgの体重の子供が一年間に四kgの添加物  
を食わされています。恐ろしい話です。

## 五 日本の価値観に疑問

世界の異文化性というものを比べてく  
ると日本の価値観は何か、ということに  
なってきます。僕は、あまり日本人が認  
めていない、まだ贅沢にある、山とか川  
とか海に価値があると思つています。け  
れども、現実の社会では金でしょう。金  
が一番偉いわけじゃないですか。金さえ  
あれば生きていけるといふ人もいます。金  
が元で精神的な病気になつてしまふ人  
も多いわけです。金が価値の頂点にな  
つてしまつているこの国の仕組みは、絶対  
におかしいと思つています。このことに早く  
大人たちが気付いて、疑問を挟んで子供  
たちに伝えていかないと、大した文明国  
には、ならないと思つています。

(文責 山田浩之)